

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課

担当課長名：村山 一弥

| | | | | | |
|---|---------------------------------------|--|--|-------|--------|
| 事業名 | 地域高規格道路 中津日田道路 一般国道212号 耶馬溪道路 | 事業区分 | 一般国道 | 事業主体 | 大分県 |
| 起終点 | 自：大分県中津市耶馬溪町大字山 移 至：大分県中津市耶馬溪町大字大島 | | | 延長 | 5.0 km |
| 事業概要 | | | | | |
| 当道路は、大分自動車道と東九州自動車道及び重点港湾中津港を連結する地域高規格道路中津日田道路（延長約50 km）の一部を担う延長5.0 kmのバイパス事業である。中津・日田地域の連携を強化し、地域産業の活性化や、災害時の救援活動や代替路としての機能確保等を目的としている。 | | | | | |
| H20年度事業化 | 都市計画決定 なし | H23年度用地着手 | H23年度工事着手 | | |
| 全体事業費 | 216億円 | 事業進捗率 | 約64% | 供用済延長 | 0 km |
| 計画交通量 | 10,200台/日 | | | | |
| 費用対効果分析結果 | B/C (事業全体) 1.1 (残事業) 3.1 | 総費用 (残事業)/(事業全体) 80/219億円 (事業費：74/212億円 維持管理費：7/7億円) | 総便益 (残事業)/(事業全体) 249/249億円 (走行時間短縮便益：168/168億円 走行経費減少便益：40/40億円 交通事故減少便益：41/41億円) | 基準年 | 平成29年 |
| 感度分析の結果 | | | | | |
| (事業全体) 交通量：B/C=1.3~1.0(交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C=3.4~2.8(交通量 ±10%) 事業費：B/C=1.1~1.2(事業費 ±10%) 事業費：B/C=3.4~2.8(事業費 ±10%) 事業期間：B/C=1.1~1.1(事業期間±20%) 事業期間：B/C=3.1~3.0(事業期間±20%) | | | | | |
| 事業の効果等 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・重要港湾中津港と東九州自動車道及び大分自動車道を結ぶ循環型ネットワークの形成。 ・中津市（中津港）～日田市間で33分（83分→50分）の時間短縮による交流人口の拡大及び物流の促進。（中津日田道路全線供用） ・現道（国道212号）が豪雨や地震などによる災害時に、救援活動や代替路としての機能を確保。 ・自動車関連産業をはじめとした地域産業の活性化を推進するとともに、産業活動や広域的な観光交流を支援。 | | | | | |
| 関係する地方公共団体等の意見 | | | | | |
| 沿線の地方公共団体や商工会議所等で構成する中津日田間地域高規格道路促進期成会（会長：中津市長）より、産業経済面への効果に加え、平成24・29年九州北部豪雨による現道通行止時に開通区間（本耶馬溪耶馬溪道路）が代替路として機能したため重要性が再認識され、早期開通の強い要望を受けている。 | | | | | |
| 事業評価監視委員会の意見 | | | | | |
| 事業継続とする事業者の方針は「妥当」 | | | | | |
| 事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度末に中津港線・中津道路の3.6 kmが供用開始。 ・平成23年度末に本耶馬溪耶馬溪道路の5.0 kmが供用開始。 ・平成26年度末に中津三光道路の3.0 km、臨港道路の3.4 kmが供用開始。 ・平成28年4月に東九州自動車道の北九州市～宮崎市間が開通。 | | | | | |
| 事業の進捗状況、残事業の内容等 | | | | | |
| 平成23年度から用地買収及び改良工事に着手。事業進捗率は平成29年度末時点で約64%（事業費ベース）。用地進捗率は100%。 | | | | | |
| 事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 | | | | | |
| 2020年度全線開通を目標 | | | | | |
| 施設の構造や工法の変更等 | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・法面補強工、落石対策工等の追加および、トンネル工の掘削補助工法等の追加。 ・トンネル支保工の軽減等によるコスト縮減 ・新技術・新工法の積極的な活用及び建設副産物対策により、着実なコスト縮減に努める。 | | | | | |

対応方針

事業継続

対応方針決定の理由

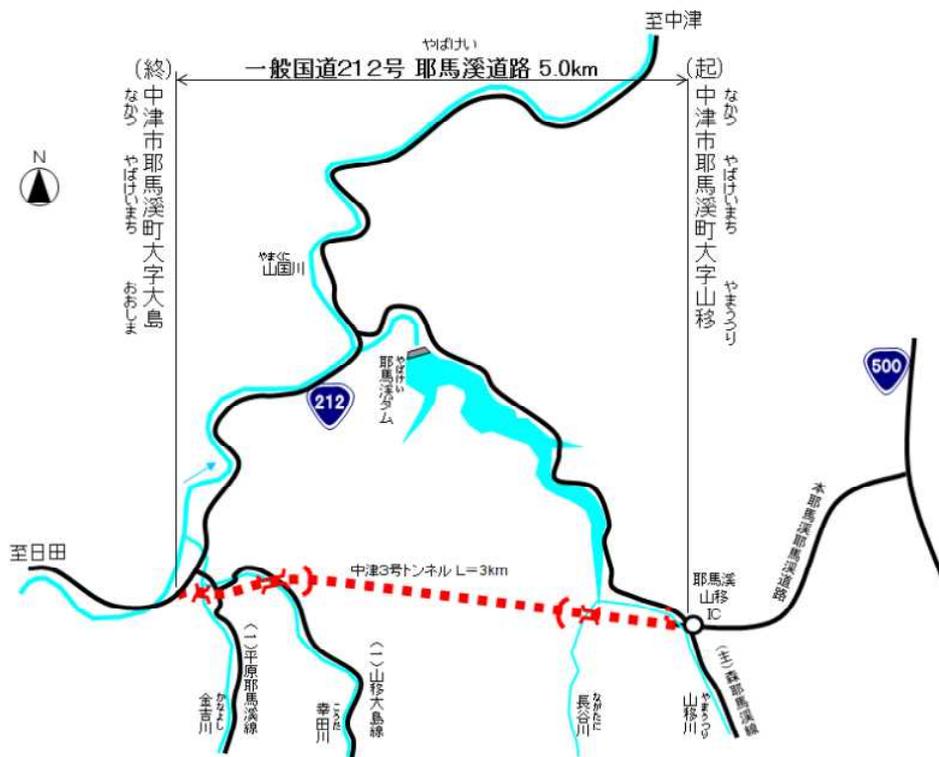
以上の事業の効果等や進捗状況、関係する地方公共団体等の意見、大分県公共事業評価監視委員会における審議の内容を踏まえると、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。

事業概要図

耶馬溪道路



| | 調査区間 | 事業中 | 計画路線 | 事業中 | 開通区間 (H.24.3) | 事業中 (意轉権限代行) | 開通区間 (H.27.2) | 開通区間 (H.21.3) | 開通区間 (H.27.3) |
|-----|-------|--------|--------------------|--------|------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|
| 区 間 | 日田市 | 日田山国道路 | 中津市耶馬溪町～ 中津市山国町 | 耶馬溪道路 | 本耶馬溪 耶馬溪道路 | 三光本耶馬溪 道路 | 中津三光 道路 | 中津道路・中津港線② | 中津港線① (臨港道路) |
| 延 長 | 約4 km | 8.5 km | 約8 km | 5.0 km | 5.0 km | 1.2.8 km | 3.0 km | 3.6 km | 3.4 km |



※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。